



「子どもを主語にした」教育の実践 子どもの可能性を最大限に引き出すために

「令和の日本型学校教育」という言葉があります。今まで日本の学校教育が果たしてきた役割やその成果を踏まえて、これから目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」と定義しています。

「令和の日本型学校教育」が目ざすものは、急激な時代の変化の中にあって今後、身に付けるべき必要な資質・能力を子どもたちに確実に育むということです。今学校には、『一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする』ことが求められています。この実現のために「子どもを主語にした学校づくり」を、南中学校ではさらに進めていきます。

「子どもが主語」とは、分かりやすく言うと「子どもが主役」ということです。これまでの学校は「子どもを育てる」場でしたが、これからの学校は「子どもが育つ」場となる必要があります。例えば、業を例にとっても、これまでの授業とはかなりイメージが違ってきています。

【これまでの授業】

- ①先生が授業
- ②先生による一問一答で進める
- ③先生が用意した課題を解決する
- ④先生による知識の押付け
- ⑤先生に好都合な情報提供する



【これからの令和の授業】

- ①子どもの学習
- ②子どもの多様な考え、答えを広げる
- ③子どもによる問題解決を行う
- ④子どもが思考・活用する
- ⑤子どもが必要な情報を収集・活用する

輝翔祭大成功 学びを生かそう南中28 ～笑顔咲き記憶に残る1日に～

1年女子：初めての輝翔祭で、トラブルも少しあったけど、みんなで協力して成功できたのが嬉しかったです。

2年女子：学年発表では、みんなと協力して一から動画を作って、来た人に楽しんでもらえました。有志発表では、絵を描いてみんなにコメントをもらえて嬉しかったです。

3年男子：僕は輝翔祭では、サイエンスショーをやりましたが、準備や解説などを楽しくやれて、さらに理科が好きになりました。みなさんも理科が好きになれましたか？



次回12月の学校公開日 12月8日(金) 性教育講演会 5校時 13時10分～

【お願い】

学校公開（授業参観）へご来校していただき、生徒の学習の様子を是非ともご覧ください。

【お知らせ】

校舎内に掲示してあるQRコードから、学校公開アンケート〈Forms〉を開き、参観後に簡単なアンケートへご協力をお願いします。

※11月20日(月)ようやく紅葉してきました。秋は何処へ？

